

ぶらっとサロン椿通信 令和3年12月号

今号の椿：有楽(うらく) or 太郎冠者(たろうかじや)

R3.4.2 撮影



報告:有楽斎

毎週火曜日の午後1時過ぎから午後4時半ごろまで、朝日2丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年3月10日から自粛し**現在休局中**です 本年発行よりタイトルに『椿』を加えました 有楽斎

椿の話題を少々。椿は自家受粉をきらうので、種を蒔いて育てる(実生=みしょう)と親木とは異なる花を咲かせる可能性が高いという特性があります。前々号に続いて**自然実生から生まれた品種③**をご案内します。(※花の名称の赤字は親木・黒字は子です)



有楽(うらく) Camellia uraku
Kitamura synonym: Camellia wabisuke 'Tar ô kaja'
別名：**太郎冠者(たろうかじや)**
紫をおびた桃色 一重 筒～ラッパ
咲き 葯退化 中輪 **江戸中期からの
古典種** ワビスケツバキだが僅かに
結実し その実生から様々なワビス
ケ品種が生まれている。

C.w.=Camellia wabisuke の略

ウラク'64
C. w. 'Uraku '64' 紫を帯びる濃桃色
一重 長筒～ラッパ咲き 筒しべ 中輪
微香 **「太郎冠者(有楽)」の自然実生か
ら1964年生まれた品種**
ウラク'90
C. w. 'Uraku '90' 青みをおびた淡桃
色 一重 筒咲き 筒しべ 有香 小輪
**「太郎冠者(有楽)」の自然実生から
1990年に命名された品種**

相模侘助(さがみわびすけ) C. w. 'Sagami-wabisuke'
淡桃～桃色 一重 猪口咲き 侘芯 小～極小輪
神奈川県海老名市の民家で発見された **「太郎冠者
(有楽)」の自然実生から生まれたといわれている**
瀬戸の娘(せとのむすめ) C. w. 'Seto-no-musume'
紫を帯びた桃色 一重 筒～猪口咲き 侘芯 極小～小輪
「太郎冠者(有楽)」の自然実生。
土佐有楽(とさうらく) C. w. 'Tosa-uraku'
やや紫を帯びた桃色 花底は色が濃い 一重 ラッパ咲き
中輪 **「太郎冠者(有楽)」の自然実生**



覆輪有楽(ふくりんうらく) **荒武者(あらむしや)**
C. w. 'Fukurin-uraku' C. w. 'Aramusha' 淡紅色地 紅
桃地 白覆輪 一重 色ぼかし 平開咲き ちぢれ弁
筒咲き 一重 筒しべ 中輪 **「太郎冠者(有
楽)」の自然実生とみられている**
筒しべ(侘芯もまじる) **尾川侘助(おがわわびすけ)**
小輪 **「太郎冠者(有楽)」
の自然実生** C. w. 'Ogawa-wabisuke'
桃紅色 一重 猪口咲き 侘芯 極
小輪 **「船津(ふなつ)」(太郎冠者(有
楽)とヤブツバキの交雑種)の実生か
ら生まれた品種。 「太郎冠者(有
楽)」の孫にあたる**

※「船津(ふなつ)」は
太郎冠者(有楽)と
ヤブツバキの交雑種

長楽(おさらく) **暁香(あかつきのかおり)**
C. j. 'Osaraku' Higo C. j. 'Akatsuki-no-kaori'
Camellia 大きな梅芯の Higo camellia
肥後椿 江戸後期の記録 淡桃色 後に白色 八重 平開
には「恐らく」と書か 咲き 花糸は黄白色 梅芯
れていて「恐らくこの 大輪 **「長楽」の自然実生**
花に及ぶものは無かろ **桃子(ももこ)**
う」との意味らしい C. j. 'Momoko' 淡桃色
「おそらく椿」と同じ 風車形の宝珠咲き ときに牡
様なこと 丹咲き 大輪
「暁香」の自然実生

C.i.=Camellia japonica の略

『和みの庭』ほかに掲載の「自然実生から生まれた品種」の中から独断で選抜しました。